


# 言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (府中町立府中小学校)

- ① 教科等 算数科
- ② 学年 第5学年
- ③ 単元名 図形の面積
- ④ 本時の目標 三角形を既習の図形に等積変形や倍積変形することを通して、三角形の面積の求め方を考え、説明することができる。
- ⑤ 学習の流れ (5時間目/全14時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
<p>1 問題場面をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>【問題】 この図形の面積は何平方センチメートルでしょう。</p>  <p>(1cm方眼)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の図形である平行四辺形について想起させ、本時と既習事項とのつながりを意識できるようにさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形を既習の図形に等積・倍積変形し、三角形の面積の求め方を考えることができる。</li> </ul> <p>〔数学的な考え方〕 (発言・ノート)</p>
<p>2 学習課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>三角形の面積の求め方を考え、説明しよう。</p> </div>		
<p>3 自力解決をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項を振り返ることで、既習事項との関連に気付かせ、求め方の見通しをもたせる。</li> <li>・方眼の書いてあるワークシートを用意し、操作を通して考えをまとめやすくする。</li> </ul>	
<p>4 共同解決をする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>ア 等しい面積の長方形に変形して計算する。</p> <p>イ 等しい面積の平行四辺形に変形して計算する。</p> <p>ウ 2倍の面積の長方形を作って計算する。</p> <p>エ 2倍の面積の平行四辺形を作って計算する。</p> </div> <p>○適用問題をやる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・底辺や高さの長さ、できた図形の名称をもとに自分の考え方を発表させる。</li> <li>・図と式を関連付けながら、自分の考えを板書用のワークシートを使って分かりやすく発表させる。</li> <li>・図、言語、式及び操作のつながりを意識させたり、1つの考え方をみんなでかかわらせたりしながら共同解決させる。</li> <li>・多様な考えを整理できるように、考えの中からいくつかに限定して比較させていく。</li> <li>・ペアトークを行い、どの方法で面積を求めたのか、自分の考えを相互に説明させる。</li> </ul>	
<p>5 学習のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の学習内容を引き出すような振り返りの視点を与え、書かせるようにする。</li> </ul>	

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- 既習の面積の求め方を基にして、三角形の面積の求め方を考え、図と式を関連付けながら説明することができる。
- 互いの考えの共通点や相違点を見付け、面積の求め方についての考えを深めることができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 根拠を明らかにして説明させるために、図の操作と式を関連付けさせる。
- ペアトークを行い、自分の考えを表現する場を設ける。また、友だちの意見と比較しながら聞かせることにより、自分の考えを確かなものにさせる。